

マキノ病院ニュース

第118号

— 令和3年9月1日発行 —

新型コロナウイルスワクチン接種について

健康管理室 室長 南 雅朗

健康管理室より、マキノ病院におけるコロナワクチン予防接種に関するお話をさせていただきます。

初のコロナ感染者が確認されたのは、昨年1月15日、中国武漢市でした。一度収束して、その後変異して欧州で拡大した株が国内に入り込んだのが「第一波」でした。各地で感染者集団（クラスター）が次々に発生し、政府が4月に初の「緊急事態宣言」を7都道府県に発出し5月に一旦収まりをみせましたが、夏に東京の繁華街を中心とした「第二波」が起り感染者は増え続けました。そして感染者が減らないまま10月末ごろから「第三波」へ、この頃から家庭内、医療機関、

高齢者施設へと拡大し重症化リスクの高い高齢者の感染が増えました。また英国で見つかった「アルファ株」が猛威を振るい感染者が再び増加。特に大阪は医療の逼迫が深刻で、自宅療養中に亡くなる方が相次いだため、4月に「まん延防止等重点措置」や東京で「緊急事態宣言」が再び発出される事になりました。そこでコロナ感染の対応策として2月中旬にファイザー製のワクチンが国に特例承認され、ワクチンの接種が現実のものとなりました。

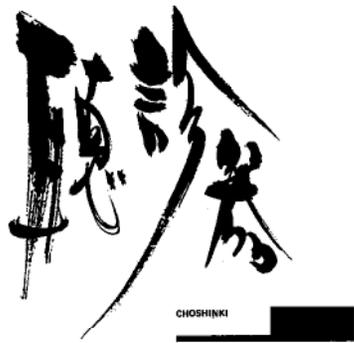
様の接種にあたり、医療従事者の先行接種で得られた教訓を活かし、接種日時（診療時間・業務との調整）、院内での待機・接種場所（スムーズな流れの確保）、役割分担（人員確保と医師・看護師・薬剤師・事務職員等の連携）、1日の接種人数（蜜の回避等適正数の算出）、診療体制の整備（救急診療、発熱外来対応との調整）、安全対策（副反応発生時の対応）等を検討し、できる限り皆様に安心して接種をお受けいただけるよう整備に努めました。また、このワクチンは1本あたり6名分の接種が可能ですが、開栓後は保存がきかないため貴重なワクチンが無駄にならないよう柔軟な対応を心がけています。様々な課題をひとつひとつクリアしながら、当院では、月曜日・火曜日・金曜日の平日、午後2

時〜4時に接種を行い、7月末日までに1800人超の皆様にお受けいただいております。現在では国からのワクチン供給事情に合わせた対応になっておりますことから、それに見合った予約枠でしかお受けできませんがご理解の程お願いいたします。またご予約は、専用電話番号0740-27-0101（月曜日〜金曜日の平日、午後1時〜4時）で承っておりますが、時間帯によってはお電話が殺到することもあり、大変お待たせいたしましたこと、誠に申し訳なく存じます。今後とも、ワクチン接種をご希望されます皆様の一助となれるよう努めてまいります。

診療科のご案内
内科・外科・小児科・整形外科・皮膚科・神経内科・総合診療科
肛門外科・泌尿器科・リハビリテーション科・リウマチ科・放射線科
【救急指定・労災指定】【人間ドック・各種健診】

— 診療受付時間 —
平日 8:30 ~ 12:00 16:40 ~ 19:00 土曜日 8:30 ~ 12:00
滋賀県高島市マキノ町新保 1097 TEL 0740-27-0099
ホームページ <http://www.makino-hosp.or.jp>

ドクターコーナー



よく足のむくみを訴える方がおられますが、下腿のむくみは、組織間質液が増加した状態であり、そのこと自体は病気とは限りません。例えば、長時間バスに乗っていて目的地に着いたら足がむくんでいたという経験している人は多いと思います。これは水が重力のままに体の低いところにたまってしまっ

たに過ぎません。

日常生活でも起こることです。一日中畑や台所に立って作業をしていて、休憩すると足がむくんでいるのに気が付く。寝ていけば朝になったら腫れは引いているので気にならないが、だんだん腫れが強くなり

腫は検査をしても異常が見つかりません。苦痛がなければ家族にも訴えられませんがひどくなるまで気が付かれないことも多いものです。高齢化に伴い、このようなはつきりした原因の分からない生活習慣によるむくみの方が増えてきて、これを

廃用性浮腫について

整形外科 笠原 壽人

になってゆく。

足のむくみを生じる病気には心不全や腎不全、深部静脈血栓などがあり、これらは治療を必要とすることが多いです。もちろん検査でも異常が発見されるかもしれませんが、ところが生活習慣による慢性の浮

「廃用性浮腫」と呼ぶようになってきます。さて廃用性浮腫の治療ですが、病気ではないので直接治療する薬はありません。利尿剤というおしっこ

もなるので、むやみには使えませぬ。まずは圧着ソックス。下腿に圧をかけて水をくみ上げようとするものです。廃用性浮腫は夜寝ているときには少しマシになりますが、日中起きているときに足を降ろしているのが腫れてきます。この間にむくみ予防の圧着した靴下を履こうということです。ドラッグストアにもありますし、病院でご紹介することもできます。次に、日中足を上げておくこと。椅子に座っているときも足台の上に置いておくとか、ソファの上に足を載せて自分は床に寝て挙上すると効果的です。

が豊富ではなく若い人でもむくむことがあります。ふくらはぎの筋肉が収縮することで血液を高いところにくみ上げるとい作用が筋ポンプ作用で、溜まるはずの水を体の上の方にくみ上げる効果が期待できます。これを利用してするためには、ふくらはぎの筋肉を鍛えなければなりません。例えば、毎日背伸びを100回、朝昼晩と習慣にしましょう。踵を持ち上げるだけでも十分です。ふくらはぎの筋肉が強くなると筋ポンプ作用を使えるようになります。もしかしたら、むくみがなくなるかもしれません。

を出させる薬が有効なことがあります。心臓に負荷をかけることに

法です。水をくみ上げることは主に血流の役目で、下腿は血流